

さいたま市との連携

政令指定都市であるさいたま市と11分野にわたる包括連携協定を締結し、市民サービスの向上と地域活性化などの推進に向け協働しています。
「第8回世界盆栽大会 in さいたま」（2017年4月）のPR協力など地域の魅力発信に取組むほか、同市が取組む公民連携推進についてセミナー共催など積極的に協力しています。



世界盆栽大会に訪れた方々に「ぶらって大宮水川参道」を配布

連携分野

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| (1) 産業・経済の振興、地域雇用の創出 | (7) 高齢者支援、障害者支援 |
| (2) 農業の振興、地産地消の促進 | (8) 子育て支援、子ども・青少年育成 |
| (3) まちづくり、公共施設マネジメント | (9) 地域・暮らしの安心・安全、災害対策 |
| (4) スポーツ、文化、芸術の振興 | (10) 環境保全 |
| (5) シティセールス、観光振興 | (11) その他市民サービスの向上と地域の活性化 |
| (6) 健康増進 | |

見沼たんぼを舞台とした新たな産業の創造 -さいたま市内での小麦の地産地消を促進-

2014年9月より、地域の皆さまとともに、さいたま市の「見沼たんぼ」での小麦の生産と6次産業の創造に取組んでいます。
2016年6月には初収穫を行い、収穫した小麦を用いた製品化の取組みを開始しました。同年12月には試作品の試食会を行い、製品化に向けた開発・改良に繋げていくなど、新たな地域産業創造に向けた取組みを行っています。

6次産業

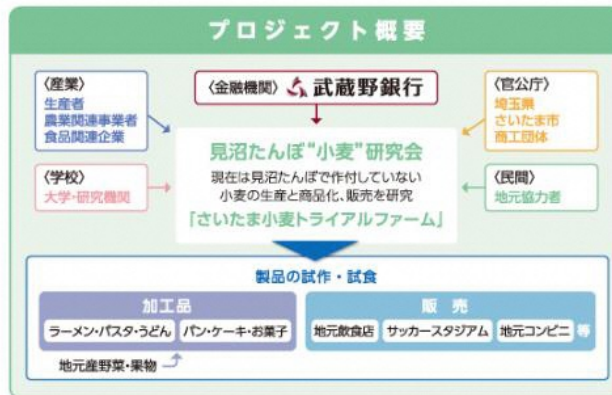
1次産業者である農林漁業者が、豊富な地域資源を有効活用し、原料供給だけでなく、2次産業（加工・製造）、3次産業（流通・販売）を展開する経営形態。豊富な地域資源を有効活用し、新たな付加価値を生み出す取組み。
1次×2次×3次=6次産業

見沼たんぼを舞台とした新たな産業の創造 -さいたま市内での小麦の地産地消を促進-

2014年9月より、地域の皆さまとともに、さいたま市の「見沼たんぼ」での小麦の生産と6次産業の創造に取組んでいます。
2016年6月には初収穫を行い、収穫した小麦を用いた製品化の取組みを開始しました。同年12月には試作品の試食会を行い、製品化に向けた開発・改良に繋げていくなど、新たな地域産業創造に向けた取組みを行っています。

6次産業

1次産業者である農林漁業者が、豊富な地域資源を有効活用し、原料供給だけでなく、2次産業（加工・製造）、3次産業（流通・販売）を展開する経営形態。豊富な地域資源を有効活用し、新たな付加価値を生み出す取組み。
1次×2次×3次=6次産業



2014年度

「見沼たんぼ“小麦”6次産業創造研究会」発足

現在は見沼たんぼまで作付していない小麦の生産復活に向けた研究会を立ち上げました。



2015年度

「さいたま小麦トライアルファーム」オープン

さいたま市見沼区での小麦栽培を開始しました。



2016年度

初収穫した小麦を用いて、市内の食品加工業者などと連携し、製品開発を開始しました。



さまざまな小麦製品を試食していただきました

2017年度

2回目の収穫した小麦を用いて、市内の食品加工業者などと連携し、「ぶざん物産市」を開催。パン・和菓子等の小麦製品を販売しました。

